

県内中小企業(製造業)景況動向

令和元年10月～12月期

業況大幅悪化、東日本大震災直後と同等の水準

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲14.0	▲19.1	▲26.0	▲17.7

同期比の売上高DIは▲20.9、収益性DIは▲31.0で、両方を合わせたDI平均値は▲26.0となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは8.3ポイント上昇して▲17.7となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは4.7、収益性DIは▲18.4となった。

また、雇人員判断DIは32.4、設備操業率DIは5.5、設備投資実施率は23.8%となった。

繊維・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲13.3	▲48.2	▲34.5	▲52.9

同期比の売上高DIは▲37.9、収益性DIは▲31.1で、両方を合わせたDI平均値は▲34.5となり「雨」模様が続いている。来期見通しは18.4ポイント下降して▲52.9となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲50.0、収益性DIは▲31.6となった。

また、雇人員判断DIは10.5、設備操業率DIは▲36.8、設備投資実施率は3.4%となった。



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(同期比)については▲27.1となり、前回調査(元年7-9月期)の▲18.5から8.6ポイント下降している。来期見通しにおいては2.4ポイント上昇して▲24.7となっている。

売上高DI(同期比)については▲24.1となり、前回調査から5.8ポイント下降している。来期見通しにおいては1.9ポイント下降して▲26.0となっている。

収益性DI(同期比)については▲30.1となり、前回調査から11.5ポイント下降している。来期見通しにおいては6.7ポイント上昇して▲23.4

となっている。

業況DI(同期比)については▲26.0となり、前回調査から9.1ポイント下降している。来期見通しにおいては0.5ポイント上昇して▲25.5となっている。

原材料価格DI(前期比)については31.0となり、前回調査から4.7ポイント下降している。

販売価格DI(前期比)については5.1となり、前回調査から0.1ポイント下降している。

資金繰りDI(前期比)については▲14.0となり、前回調査から1.1ポイント上昇している。

金融機関の態度DI(前期比)については1.3となり、前回調査から0.1

ポイント上昇している。

設備投資実施率については28.4%となり、前回調査から4.0ポイント下降している。業種別で高い実施率となったのは「金属・同製品(54.3%)」、「窯業・土石製品(36.1%)」で、目的別では「品質向上」、「増産」、「コスト低減」となっている。また、来期の設備投資計画率については28.6%となった。

設備操業率DI(前期比)については▲12.2となり、前回調査から2.8ポイント上昇している。

なお、回収率については、調査対象500社のうち238社からの回答があり47.6%となった。また、回答企業の平均従業員数は56.7人であった。

紙・加工品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲13.4	▲34.7	▲50.0	▲29.2
<p>同期比の売上高D Iは▲33.3、収益性D Iは▲66.7、両方を合わせたD I平均値は▲50.0となり「雨」模様が続いている。来期見通しは20.8ポイントの大幅上昇で▲29.2となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは「増加」・「減少」ともに8.3で0.0、収益性D Iは▲33.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲8.4、設備操業率D Iは「上昇」・「下降」ともに8.3で0.0、設備投資実施率は8.3%となった。</p>			

木材・木製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲45.5	▲8.3	▲18.2	▲45.4
<p>同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲18.2で、両方を合わせたD I平均値も▲18.2となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは27.2ポイントの大幅下降で▲45.4となり「雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは「増加」・「減少」ともに27.3で0.0、収益性D Iは▲18.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは36.4、設備操業率D Iは▲18.2、設備投資実施率は9.1%となった。</p>			

金属・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲34.7	▲15.3	▲32.9	▲15.8
<p>同期比の売上高D Iは▲28.6、収益性D Iは▲37.1で、両方を合わせたD I平均値は▲32.9となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは17.1ポイント上昇して▲15.8となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲17.2、収益性D Iは▲16.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは20.9、設備操業率D Iは▲16.7、設備投資実施率は54.3%となった。</p>			

窯業・土石製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲25.0	▲6.9	▲4.2	▲9.7
<p>同期比の売上高D Iは「増加」・「減少」ともに30.6で0.0、収益性D Iは▲8.3で、両方を合わせたD I平均値は▲4.2となり「曇」模様へ転じている。来期見通しは5.5ポイント下降して▲9.7となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは25.0、収益性D Iは16.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは42.0、設備操業率D Iは9.7、設備投資実施率は36.1%となった。</p>			

プラスチック製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲13.7	▲6.7	▲18.2	4.6
<p>同期比の売上高D Iは▲27.2、収益性D Iは▲9.1で、両方を合わせたD I平均値は▲18.2となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは22.8ポイントの大幅上昇で4.6となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲9.1、収益性D Iは▲10.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは20.0、設備操業率D Iは10.0、設備投資実施率は18.2%となった。</p>			

機械・機器

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲1.9	▲16.0	▲35.3	▲31.4
<p>同期比の売上高D Iは▲30.5、収益性D Iは▲40.0で、両方を合わせたD I平均値は▲35.3となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは3.9ポイント上昇して▲31.4となるものの「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲16.4、収益性D Iは▲27.8となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲1.9、設備操業率D Iは▲31.4、設備投資実施率は33.3%となった。</p>			